

福島第一原子力発電所 建屋開口部等における空气中放射性物質の核種分析結果<1/2>

参考値

(データ集約：1/23)

採取場所	運用補助共用施設3階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設3階 (南側階段前)		運用補助共用施設3階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
	平成26年12月17日 8時27分	平成26年12月18日 8時15分	平成26年12月17日 8時31分	平成26年12月18日 8時12分	平成26年12月17日 8時25分	平成26年12月18日 8時10分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	8.5E-08	0.00	5.1E-08	0.00	2E-03
Cs-137 (約30年)	1.6E-07	0.00	1.8E-07	0.00	2.0E-07	0.00	3E-03

※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。

※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。

※ 〇.〇E-〇とは、〇.〇×10^{-〇}と同じ意味である。

その他の核種については評価中。

※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を1と比較する。

※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。

揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約7E-8Bq/cm³、Cs-137が約1E-7Bq/cm³。

粒子状のI-131が約3E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³。

ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。

採取場所	運用補助共用施設 3 階 (機器ハッチ近傍)		運用補助共用施設 3 階 (南側階段前)		運用補助共用施設 3 階 (北側階段前)		②炉規則告示濃度限度 (Bq/cm ³) (別表第2第四欄 放射線 業務従事者の呼吸する 空気中の濃度限度)
	試料採取日時刻	平成26年12月18日 8時16分	平成26年12月19日 9時15分	平成26年12月18日 8時13分	平成26年12月19日 9時13分	平成26年12月18日 8時11分	
検出核種 (半減期)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	①試料濃度 (Bq/cm ³)	倍率 (①/②)	
I-131 (約8日)	ND	-	ND	-	ND	-	1E-03
Cs-134 (約2年)	ND	-	ND	-	ND	-	2E-03
Cs-137 (約30年)	9. 2E-08	0. 00	9. 4E-08	0. 00	ND	-	3E-03

- ※ 本分析は、燃料取り扱い時の空气中放射性物質の核種分析結果である。
- ※ 試料濃度は、揮発性と粒子状の合計値。
- ※ 〇. 〇E-〇とは、〇. 〇 × 1 0^{-〇}と同じ意味である。
その他の核種については評価中。
- ※ 二種類以上の核種がある場合は、それぞれの濃度限度に対する倍率の総和を 1 と比較する。
- ※ 本分析における放射能濃度の検出限界値を下回る場合は、「ND」と記載。検出限界値は次の通り。
揮発性のI-131が約4E-8Bq/cm³、Cs-134が約6E-8Bq/cm³、Cs-137が約9E-8Bq/cm³。
粒子状のI-131が約2E-8Bq/cm³、Cs-134が約4E-8Bq/cm³、Cs-137が約5E-8Bq/cm³。
ただし、検出限界値は検出器や試料性状により異なるため、この値以下でも検出される場合もある。